

# ごあいさつ



平素はJAひがしみの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響について、厳しい状況は徐々に緩和され持ち直しの動きもみられますが、感染拡大の収束については見通すことが困難であり、感染症対策を堅持しながら、ウイズコロナやアフターコロナへの取り組みが求められるところです。

農業を取り巻く環境につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、米の需供緩和による米価の低迷をはじめとして、農畜産物の販売価格にも影響が出ております。加えて、ウクライナ情勢や円安等による輸入原材料の高騰により肥料・飼料・燃油等の生産資材の高騰が顕著になっており、農家経営にも影響が出てきています。このような状況の中、生産資材高騰対策や持続可能な農業経営維持のための施策について、早期の実施が求められるところです。また、国内農畜産物の消費拡大並びに食料安全保障の重要性について、国民的理解の醸成を図ることが大きな課題であり、消費者の皆さま方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

JA経営をめぐる情勢は、JAの自己改革については、政府から一定の評価がされたところではあります。引き続き新たなステップを目指し、自己改革を継続してまいります。また、日銀のマイナス金利政策により金融事業における運用益の確保が厳しい状況が続くと想定されており、令和4年度より新たな中期経営計画を策定して「農業者の所得増大の実現」「組織基盤の確立と「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献」「総合事業機能発揮のための経営基盤強化」に取り組んでまいります。特に、経営基盤強化につきましては、支店体制の再編並びに機能見直し、営農経済事業の収支改善からなる総合事業再編計画を実践してまいります。

今後とも組合員・利用者の皆さまとの繋がり強化を図り、法令等遵守態勢を徹底し、地域の皆さまに信頼され、必要とされるJAを目指し、役職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

ここに2022年度版ディスクロージャー誌を発行させていただきますので、ご一読いただきJAひがしみのへのご理解をさらに深めていただき、一層のご支援とご鞭撻を賜りまようお願い申し上げます。

令和4年7月

東美濃農業協同組合

代表理事組合長 細江 成徳